

事務事業 No./名 称	■サービス部門 環境-20 名越クリーンセンター収集事業 □支 援 部 門						
主管課	名越クリーンセンター	関連課	環境部内各課・管財課車両管理担当				
分野名	生活環境						
目標 (目標値)	収集の効率化。燃やすごみの減量化。(生ごみの資源化及び循環資源の再利用、再生利用)						
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備 考		
	人 口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
	事業の対象者数	103,703人	103,495人	103,635人			
運営資源 状 況	決算値(千円)	21,252千円	41,236千円	32,993千円			
	(国・県)						
	(負担金等)		14,700千円	6,300千円			
	(一般財源)	21,252千円	26,536千円	26,693千円			
	人員配置数	64.8人	67.8人	69.8人			
	人件費(千円)	583,925千円	626,144千円	651,280千円			
	協 働 の パートナー	自治・町内会長 廃棄物減量化推進員	自治・町内会長 廃棄物減量化推進員	自治・町内会長 廃棄物減量化推進員			
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	605,177千円	667,380千円	684,273千円			
	市民1人当 りの経費(円)	3,416円	3,778円	3,877円			
	対象者1人 当りの経費(円)	5,836円	6,448円	6,603円			
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名						
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(25年度)
燃やすごみの年間収集量	◎	目標値	15,000.00t	15,000.00t	14,800.00t	14,600.00t	14,200.00t
		実績値	14,995.73t	14,841.05t			

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。		②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。	
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。		④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。	
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)		⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
名越クリーンセンター 収集事業	21,252千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E		事業の概要	
		市民から排出された燃やすごみ及び資源物等の収集運搬				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		事業の概要	
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		事業の概要	
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		事業の概要	
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		事業の概要	

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)						
H22年度の課題	・不適合な排出等により鳥獣被害が発生し、収集時間が遅延する。 ・「声かけふれあい収集」及び狹隘路地区のクリーンステーション設置要望も含め人員機材の確保が必要である。					
課題解決のための取組	・自治・町内会廃棄物減量化推進員と協働して、分別・排出指導を行った。・鳥獣被害対策として「チャック式ネット」を考案し、実験を行った。 ・「声かけふれあい収集」及び狹隘路地区の増加に伴い、軽ダンプ車を増車した。					
未解決の課題	・「声かけふれあい収集」及び狹隘路地区のクリーンステーション設置要望が、現在も増加傾向にあり人員機材の確保が必要である。					
今後の方針	・「声かけふれあい収集」等の質の高いサービスを充実させるために、収集業務の委託を拡大し、安定した収集体制を確保していく。 ・「チャック式ネット」が市民に好評なので、戸別収集実施までの間普及を図っていく。					
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	B	※ □事業完了	課長名	名越クリーンセンター所長 宮村 伸一

個別事業の概要

個別事業の概要						
小事業名		ザイムスコード	個別事業名	22年度予算	22年度決算値	個別事業の評価結果
名越クリーンセンター 収集事業	主な個別事業	1169	消耗品費	1,387	1,366	■適切 □見直し余地あり
			車両燃料費	8,696	7,897	■適切 □見直し余地あり
			車両修繕費	10,652	8,450	■適切 □見直し余地あり
			備品購入費	3,288	3,288	■適切 □見直し余地あり
	主な個別事業					□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業					□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業					□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業					□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業					□適切 □見直し余地あり